

様式2

平成24年度第2回文化財保護審議会 会議概要

- 1 審議会名 平成24年度第2回文化財保護審議会
- 2 日 時 平成24年11月6日(火) 午前2時30分から午後4時00分まで
- 3 会 場 くるりん広場 会議室
- 4 出席者 百瀬(宗)会長、石田委員、飯沼委員、梅干野委員、百瀬(新)委員
- 5 市側出席者 教育長 丸山武人、文化課長 三澤良彦、
文化財保護係 係長 山下泰永、文化財保護係 逸見大悟、土屋和章
- 6 公開・非公開の別 一部公開
- 7 傍聴人0人 記者0人
- 8 会議概要作成年月日 平成24年11月20日

協 議 事 項 等

1. 会議の概要

開会、あいさつ

報告事項

- (1) 平成24年度文化財保護事業(上半期)について
- (2) その他

審議事項

- (1) 「荻原神社のお船祭り」の指定について
- (2) 「岩原山神社のお舟祭り」の指定について

その他

閉会

2. 報告概要

- (1) ~ (2)

■新規の登録有形文化財の検討はどの程度進んでいるのか。また、民家調査はどの程度すすんでいるか。(委員)

→継続して検討中である。文化庁の調査官が来訪する際は視察していただけるよう働きかける。民家調査は立ち上げの段階で梅干野委員に助言をいただいて始まっている。(事務局)

3. 審議概要

※標記について・・・「オフネ」：オフネ全般をさす場合、「お船」「お舟」等：各地区で用いる個別の表記

- (1) 「荻原神社のお船祭り」の指定について

■今回、郷土博物館でオフネ祭りの展示を行って、市全体の中で荻原のお船の特徴・評価したい点は何か。(委員)

→まず、県内最大級といえるほど大きいこと、それと現在は実行委員会を組織して伝承を構成に伝えていこうという動きが見られる点が評価できる。(事務局)

■ロウソクを掲げるのはずっと昔からやってきているか。(委員)

→以前からの伝統であるが、いつ頃から始まったかはよくわからない。(事務局)

■資料には現在大きい船のみ残っているように書かれているが、小さいほうはまだ残っているか。(委員)

→車輪のついたヤグラの部分は神社に保管されている。(事務局)

■お船が大小2艘でたというのは何か意味があるのか。他地域でもこうした事例はあるか。(委員)

→以前は現在の区よりも小さなコミュニティーの単位があって複数のオフネが出される例が市内でいくつかある。(事務局)

■ 大小というのはあまり例がないか。(委員)

→ 穂高神社では大人船・子ども船と大小の御船が出る。(事務局)

■ ナラを御神木というか依代にする例は他にもたくさんあるか。(委員)

→ 穂高神社がナラを使っている。ナラが手に入らない地域では竹を使っているところもある。(事務局)

→ オフネはいくつもあるが何を御神木にするかは重要なことである。(委員)

→ 荻原ではナラの木と呼んでいる枝は特定の樹種ではなくクヌギやコナラの総称として用いられる呼称である。
(事務局)

■ 以上のような内容を確認し、指定適当で答申することに決定する。

(2) 「岩原山神社のお舟祭り」の指定について

■ 岩原山神社のお舟は市内で現在唯一の担ぎ舟である。保存団体も伝承に前向きである。このことから指定が適当であるとする答申をすることで決定した。